

岐阜市あけぼの会便り

令和元年7月号

紫陽花の鮮やかさから、枝豆を食べたくなる季節になりました。

みなさん、お元気ですか。

「630調査」をご存知ですか？

6月例会で「精神科病院 選べない」3月1日付け新聞記事を読み合わせました。

厚生労働省が毎年6月30日時点の全国の精神科医療機関の実態を把握する「精神保健福祉資料（630調査）」を非公開とする都道府県が相次いでいます。

ぎふかれんの「精神科医療に関するアンケート」のご協力を

受診時の医師などの対応、入院時の拘束などの調査です。（6月例会で、記入。）

- ・「岐阜県福祉友愛アリーナ」が完成。障害者はプールも無料です。
- ・「NHK ハート展」で、詩の募集（障がい者の詩をアート作品にし、展示。）
- ・「ぎふかれん」では、「そうめん」の斡旋販売をしています。資金づくりにご協力を。

ぎふかれん TEL 058-271-8169

担当：筒井

7月例会 「親亡き後」の学習会

日時：7月9日（火） 13:30~15:30

会場：南市民健康センター

講師：「くらしケア」（訪問看護）の職員さん

「8050問題」など、私たちの心配ごとを出しましょう。

8月例会（講演会）

日時：8月18日（日） 13:30~15:30

会場：ぎふメディアコスモス かんがえるスタジオ

演題：「居場所、当事者会について」

名古屋の当事者会の方3名ほどに、活動内容を発表してもらう予定です。

第34回「知ってもらいたい心の病」講演会

岐阜県、「ぎふかれん」主催

日時：令和元年7月14日（日）13：30～16：00

場所：大野町総合町民センター

演題：「精神障がい者の障害とは？関わり方とその理解について」

講師：河村真志氏（臨床心理士）

本の紹介「追体験 霧晴れるとき」 みんなねっとライブラリー第1弾

今および未来を生きる 精神障がいのある人の家族 15のモノガタリ

1,404円 224ページ 四六版

著者：青木聖久（きよひさ）（みんなねっと理事、日本福祉大学教授）

「ぎふかれん」の 家族による家族のための電話相談 058-271-8169

火・木曜日 10:00~15:00 悩み、行事の案内など、お気楽に電話して下さい。

岐阜市あけぼの会 連絡先

服部 247-6004

熊谷 090-6578-9838

山内 246-0409

中村 090-7039-9447

石田 090-6084-2124

筒井 090-2685-0226

岐阜市楽らくクラブ（当事者会）

7月例会

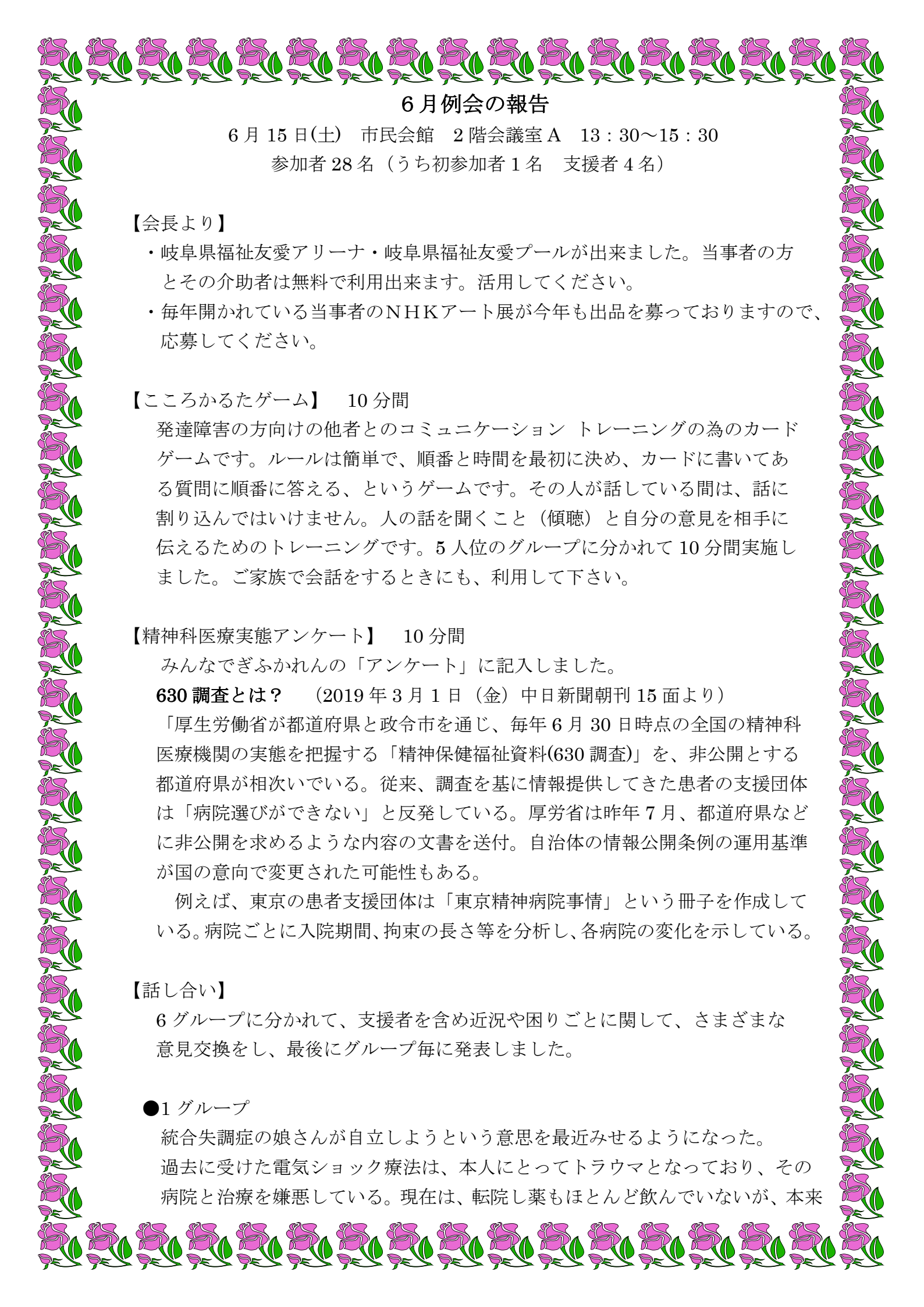
日時：7月28日（日）13～15時

場所：日光コミュニティセンター 2F 会議室 * 参加費200円

連絡先：石田 吉保（090-6084-2124）

山内久美子（058-246-0409）

筒井有紀子（090-2685-0226）



6月例会の報告

6月15日(土) 市民会館 2階会議室A 13:30~15:30

参加者28名(うち初参加者1名 支援者4名)

【会長より】

- ・岐阜県福祉友愛アリーナ・岐阜県福祉友愛プールが出来ました。当事者の方とその介助者は無料で利用出来ます。活用してください。
- ・毎年開かれている当事者のNHKアート展が今年も出品を募っておりますので、応募してください。

【こころかるたゲーム】 10分間

発達障害の方向けの他者とのコミュニケーション トレーニングの為にカードゲームです。ルールは簡単で、順番と時間を最初に決め、カードに書いてある質問に順番に答える、というゲームです。その人が話している間は、話に割り込んではいけません。人の話を聞くこと(傾聴)と自分の意見を相手に伝えるためのトレーニングです。5人位のグループに分かれて10分間実施しました。ご家族で会話をするときにも、利用して下さい。

【精神科医療実態アンケート】 10分間

みんなでぎふかれんの「アンケート」に記入しました。

630調査とは? (2019年3月1日(金)中日新聞朝刊15面より)

「厚生労働省が都道府県と政令市を通じ、毎年6月30日時点の全国の精神科医療機関の実態を把握する「精神保健福祉資料(630調査)」を、非公開とする都道府県が相次いでいる。従来、調査を基に情報提供してきた患者の支援団体は「病院選びができない」と反発している。厚労省は昨年7月、都道府県などに非公開を求めるような内容の文書を送付。自治体の情報公開条例の運用基準が国の意向で変更された可能性もある。

例えば、東京の患者支援団体は「東京精神病院事情」という冊子を作成している。病院ごとに入院期間、拘束の長さ等を分析し、各病院の変化を示している。

【話し合い】

6グループに分かれて、支援者を含め近況や困りごとに関して、さまざまな意見交換をし、最後にグループ毎に発表しました。

●1グループ

統合失調症の娘さんが自立しようという意思を最近みせるようになった。過去に受けた電気ショック療法は、本人にとってトラウマとなっており、その病院と治療を嫌悪している。現在は、転院し薬もほとんど飲んでいないが、本来

の自分を取り戻したように感じられる。

●2 グループ

- ・40代の統合失調症の娘は父親を認めず、父親だけアパート暮らし。食事は家で食べるが、娘とは話ができない。母とは同居。別所帯の妹とは交流がある。話せる人は、今の主治医だけのよう。外出せず、一日中ネットをしている。家計の管理をしていて、領収書の提出を求める。将来への不安からか自分の障害年金は使わない。
- ・中学の時に発病し、現在40代。中学時代の「おもちゃ」などにこだわる。「自立したい」という思いはあるが、一人で駅に行き切符を買ったり電車に乗れない。家の仕事の手伝いをしていた時もあるが、今はひきこもり状態。→訪問看護の利用を検討されてはどうか。まずは、母親の話聞いてもらう。当事者が「他人が家に入ること」に慣れてもらうのを待つ。

●3 グループ

- ・娘は、うつ病や強迫性障害などいくつか診断名があるうえ、5年くらい前に交通事故で高次脳機能障害になり、今はひきこもり状態。診察を拒否し薬も飲まない。娘の部屋の片づけをしたくてもパニックになるので手も出せず、機嫌を損ねないようにしているので、家庭の中は重苦しい状況です。これから先のことを考えると辛いです。
- ・妻が精神疾患になりました。原因は夫である自分のせいだと子供は言います。妻との生活を見直してみます。
それぞれの方が当事者への思いと関わり方に悩んでいます。親亡き後の心配はあっても、今現在をどうやってやり過ごすかで精一杯という現状です。まずは例会に参加して話をして聞いてもらうだけでも、リフレッシュ出来たとと言われる方がありました。

●4 グループ

- ・現在、市民病院への出入禁止になっているが、他の病院のデイケア参加は可能。
- ・仕事は、他の方との人間関係が上手くいかないので休業している。
→B型作業所へ行ったらどうか。
- ・楽らくクラブ(当事者会)には、家族も参加可能です。一度見学に来てください。

●6 グループ

- ・奥さんの体調が悪く、内科にかかったら、医師から精神科の受診を勧められた。認知機能障害かも？薬を処方されたが、怖くて飲まず、夫婦関係悪化。
- ・息子がIT企業関連の仕事の為、自宅での処理が多く、母親との関係が悪い。
→訪問看護の方に入ってもらい、それぞれの話を聞き。最終的に全員で内容を共有する。方向性を同じにすることを検討されては。会話をする時は、前を向き丁寧にゆったりと話し、相手をほめることを心掛けるといいと思います。